

充実に努めるとともに、福島県レクリエーション協会の育成・強化と組織の充実に努めます。

## (2) スポーツ振興のための基金の設置

明るく豊かで潤いのある生活を求めて各種のスポーツ・レクリエーションに親しむ人々が増えてきています。また、ふくしま国体に向けて県民のスポーツへの関心は一層高まりをみせており、スポーツ人口のますますの増大が予想されることから、これらの多様なスポーツ欲求に的確に対応していく必要があります。

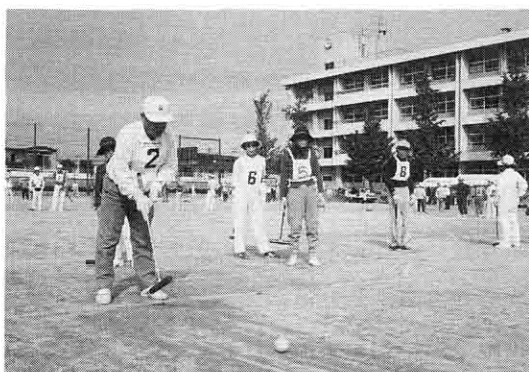
このため、ふくしま国体を契機として、一層本県のスポーツ振興を図るため、福島県スポーツ振興基金（仮称）を設置し、県民の多様なスポーツ欲求に応えるとともに、国際化に対応したスポーツ交流事業など各種事業の推進に努めます。

## 2 生涯スポーツの充実

### (1) 生涯スポーツ関係団体の育成

県民の多様なスポーツ・レクリエーション活動を推進するための団体組織は十分整備されているとはいえないことから、これらの団体の組織化の促進と育成に努める必要があります。

このため、県民の多様なスポーツ・レクリエーション活動をなお一層支援するため、比較的普及はしているものの県レベルの組織がないターゲットバードゴルフ・ソフトバレーボール・バウンドテニス・ベタンクなどのニュースポーツ団体等の組織化を促進するとともに、これらを統括する福島県レクリエーション協会等の育成・強化に努めます。



生涯スポーツを楽しむ高齢者

### (2) 指導者の養成・確保と充実

県及び福島県レクリエーション協会、財団法人福島県体育協会等においては、それぞれ、地域や職域における指導者の養成に努めるとともに、県においては、福島県スポーツリーダーバンク制度を発足させ、指導者の活用促進に努めていますが、生涯スポーツの振興を図るためには、これら指導者の養成と確保及び活用を一層充実する必要があります。

このため、市町村におけるスポーツ担当職員や体育指導委員、各職域等の指導者を対象とした巡回スポーツ指導事業の充実に努めるとともに、指導者のボランティア精神を一層啓発し、福島県スポーツリーダーバンク制度の充実に図り、その活用を促進するよう努めます。

また、福島県レクリエーション協会や福島県スポーツ少年団の指導者に対しては、より上級の資格取得について促進を図るとともに、財団法人福島県体育協会に対しては、地域スポーツ指導者やスポーツプログラマー、メディカルチェックや適切な医事相談を行うスポーツドクターなどの養成を一層促進するよう指導に努めます。

さらに、各競技団体に対しては、広く県民を対象とした生涯スポーツの普及に取り組む指導体制の整備